



4 BAND ISOLATER

# DCR-1200 Pro

取扱説明書

**バスタクス株式会社**

〒154-0011 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

---

## ごあいさつ

この度は、VESTAX DCR-1200Pro 4バンドアイソレーターをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

DCR-1200Proは、プロフェッショナルDJ、クラブPAの意見を基に、従来モデルDCR-1200の機能を拡張させたハイクラスエフェクターです。

本機の性能を十分に発揮させるためにご使用の前に、本取扱説明書を良くお読み頂きますようお願い申し上げます。

## 特 徴

- プロDJの意見をもとに設定された周波数帯域により、曲をHI、MID HI、MID LOW、LOWの4つのパートに分けることが可能です。また、HIとMID HI、LOWとMID LOWの間に周波数帯域の切換えスイッチ (FREQUENCY SELECT SWITCH) を新装備し、様々なソースに対応することが可能です。
- 操作性を高めるために、ボリュームの回転トルクに合わせた大型サイズのアルミ削り出しのノブを採用しました。
- 素早いカットイン、カットアウトと細かなセッティングを実現するために、ボリュームの回転角度は200度に設定されています。
- スタジオユース、PAユースに対応できるバランスアウトを装備しています。

## アフターサービス

- 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容を御確認の上、大切に保管しておいて下さい。
- 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理致します。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合等についてのご不明の場合は、お買い上げの販売店、または、当社サービスにご相談下さい。
- 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償修理させて頂きます。

## 設置上の注意

常温 (5~35℃) で、通気が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。また、アルコールやシンナーなどの溶剤で塗装面を拭かないで下さい。塗装が剥けることがあります。

## ご注意

DCR-1200Proの本体の保証期間は1年ですが、ボリューム、スイッチ等のパーツの耐久力を超えた過酷な使い方でお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間 (1年以上) を1ヶ月の内にお使いになられることがあります。その場合の部品の交換につきましては弊社の判断により実費を請求させて頂くことがあります。又、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合には、お買い上げの販売店か弊社サービス部門までお問い合わせ下さい。

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



### 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

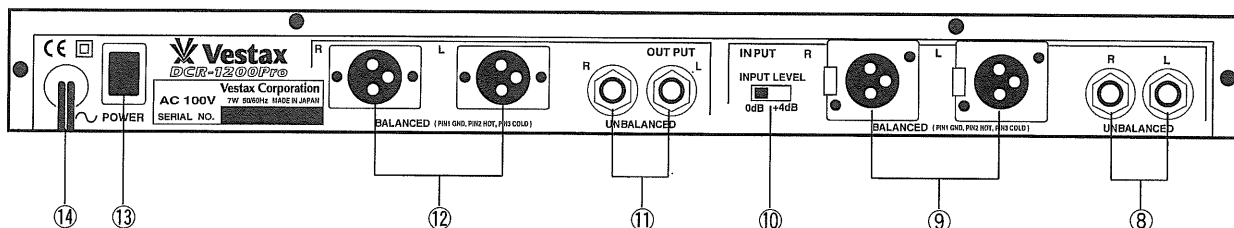
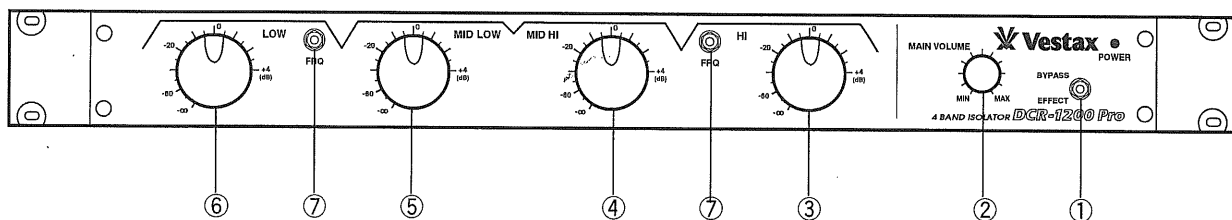


- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光線をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力傷害を起こすことがあります。

## 各部の名称と機能



### フロント部

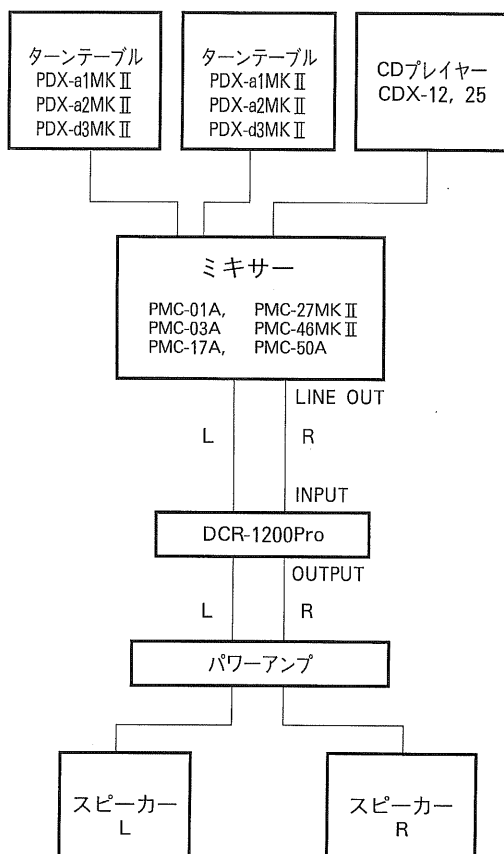
- ① EFFECT SWITCH(エフェクト/バイパス切換えスイッチ)  
BYPASS側にすると、全てのボリューム位置に関係なく入力した信号がそのまま出力されます。EFFECT側にすると各ボリュームで調節された信号が出力されます。
- ② MAIN VOLUME(音量調節ボリューム)  
全体の音量を調節するボリュームです。
- ③ ISOLATION CONTROL-HI(高音域用ボリューム)  
高音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がバイパス時と同じ音量になります。シンバル、ハイハット等の音を強調してリズムにアクセントをつける際に使用します。
- ④ ISOLATION CONTROL MID-HI(中高音域用ボリューム)  
中高音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がバイパス時と同じ音量になります。比較的高域のボーカルやメロディソースのみをカットしてリズムソースを取り出したい場合に使用します。
- ⑤ ISOLATION CONTROL MID-LOW(中低音域用ボリューム)  
中低音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がバイパス時と同じ音量になります。比較的低域のボーカルやメロディソースのみをカットしてリズムソースを取り出したい場合に使用します。
- ⑥ ISOLATION CONTROL LOW(低音域用ボリューム)  
低音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がバイパス時と同じ音量になります。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットしてアカペラ効果を得る際に使用します。

- ⑦ FREQUENCY SELECT SWITCH(周波数帯域切換えスイッチ)  
LOWとMID LOW、MID HIとHIを分割している周波数のポイントを切り替えるスイッチです。スイッチを倒した側に分割している周波数ポイントが移動します。

### リア部

- ⑧ INPUT JACK(UNBALANCED, 1/4PHONE JACK)  
アンバランスタイプの入力端子です。ミキサーからの出力を接続します。
- ⑨ INPUT JACK(BALANCED)  
バランスタイプの入力端子です。ピン番号の1番がグラウンド(GND)、2番ホット(HOT)、3番コールド(COLD)です。
- ⑩ INPUT LEVEL SWITCH  
入力レベルの切換えスイッチです。+4dB、0dBのいずれかを選択することができます。
- ⑪ OUTPUT JACK(UNBALANCED, 1/4PHONE JACK)  
アンバランスタイプの出力端子です。パワーアンプ等に接続して下さい。
- ⑫ OUTPUT JACK(BALANCED)  
バランスタイプの出力端子です。パワーアンプ等に接続して下さい。ピン配置は1番がグラウンド(GND)、2番がホット(HOT)、3番がコールド(COLD)です。
- ⑬ POWER SWITCH  
本機の電源スイッチです。スピーカー等を破損する可能性がありますので、電源オン/オフの際にはアンプの電源を必ずお切り下さい。
- ⑭ AC CORD  
本機の電源コードです。AC 100Vのコンセントに接続して下さい。

## 接続例



### 仕様

定格入力レベル/インピーダンス	: -10 dBV/47 k $\Omega$
最大入力レベル/インピーダンス	: +14 dBm/47 k $\Omega$
定格出力レベル/インピーダンス	: -10 dBV/100 $\Omega$
最大出力レベル/インピーダンス	: +14 dBm/100 $\Omega$
最大利得	: +4 dB $\pm$ 1 dB
スロープ	: -24 dB/oct
SN比	: -90 dB以上
クロストーク	: -65 dB以上

●仕様及び外装は、改良のため、予告なく変更される事がありますのでご了承下さい。

